

呼吸器内視鏡的金属マーカ―留置における留置成功率とその背景因子に関する 研究

京都府立医科大学呼吸器内科では、呼吸器内視鏡的金属マーカ―留置を行った際のマーカ―留置成功率と患者さんの背景との相関を調べる臨床研究を行っています。以前の診療録（カルテ）を使います。実施にあたり京都府立医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長より適切な研究であると承認されています。

研究の目的

この研究は、当院で呼吸器内視鏡的金属マーカ―留置施行した患者さんを研究の対象にしています。その目的は、留置が成功した症例と、脱落のあった症例の違いを考察し、今後の留置術の成功率の向上に寄与することです。

研究の方法

対象となる方：当院で2019年6月1日から2023年12月31日までに呼吸器内視鏡的
金属マーカ―留置施行した患者さん。

研究期間：医学倫理審査委員会承認後から2025年12月31日まで

具体的な方法：事務局は対象の患者さんの臨床情報を収集し、そのデータを解析し公表します。診療録（カルテ）より以下の情報を取得します。データの解析に関しては、呼吸器内科 澤田 凌が行い、得られた結果は感染症科 山本 千恵とともに考察を行います。

研究に用いる試料・情報および利用開始日：

情報：年齢、性別、喫煙歴、画像所見、等

利用開始日：2024年7月14日

情報の保存および二次利用について：カルテから抽出した情報は原則としてこの研究のために使用し結果を公表したあとは、京都府立医科大学呼吸器内科教室において澤田

凌の管理の下、研究終了報告日から5年又は研究結果の最終公表日から3年又は論文等の発表から10年のいずれか遅い日まで保管した後、研究用の番号等を削除し、廃棄します。新たな研究を行う際にはあらためてその研究計画を医学倫理審査委員会で審査し承認を得ます。

研究資金及び利益相反について：利益相反とは、寄附金の提供を受けた特定の企業に有利なようにデータを操作する、都合の悪いデータを無視するといった、企業等との経済的な関係によって、研究の公正かつ適正な実施が損なわれるまたは損なわれているのではないかと第三者から懸念される状態をいいます。本研究に関しては、利益相反はありません。本研究は運営交付金により実施します。

研究組織

研究代表者：

京都府立医科大学附属病院 感染症科 助教 山本 千恵

研究事務局：

京都府立医科大学附属病院 呼吸器内科 大学院生 澤田 凌

お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、本学(連絡先は下記に記載)および各研究施設までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。その場合の、お問い合わせは研究開始後から2024年9月30日まで対応いたします。

研究責任者：山本 千恵 (京都府立医科大学 感染症科 助教)

研究事務局：澤田 凌 (京都府立医科大学 呼吸器内科 大学院生)

〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上る梶井町 465

TEL : 075-251-5513 Fax : 075-251-5376

受付時間：月～金、9～17時(祝日および12月29日～1月4日を除く)